

2021年度(2022年3月期) 第2四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2021年11月9日

株式会社 IHI



目次

1. 2021年度第2四半期 連結決算	
連結決算総括.....	4
連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	11
連結財政状態計算書.....	12
連結キャッシュ・フロー計算書.....	13
補足資料.....	14
2. 2021年度 連結業績見通し	
通期業績見通し.....	16
報告セグメント別内訳.....	17
3. 報告セグメント別の概況	
資源・エネルギー・環境.....	21
社会基盤・海洋.....	23
産業システム・汎用機械.....	25
航空・宇宙・防衛.....	27
<参考資料>.....	29

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

IHI

1. 2021年度第2四半期 連結決算

- 資源・エネルギー・環境，社会基盤・海洋，産業システム・汎用機械の3セグメントは，第1四半期に引き続き堅調に推移。ただし，半導体不足やサプライチェーンの混乱，鋼材価格や海上輸送費の高騰の影響が顕在化。
- 航空・宇宙・防衛は，民間向け航空エンジンの本体・スペアパーツの販売が緩やかに増加し，新型コロナウイルス感染拡大の影響からの回復が継続。
- 第1四半期に実施した保有資産売却に加え，運転資本増減の改善により，フリー・キャッシュ・フローは第2四半期累計として黒字化。

1. 2021年度第2四半期 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増 減
受 注 高	4,260	5,083	823
売 上 収 益	4,817	5,165	348
営 業 利 益	▲ 61	263	324
税引前四半期利益	▲ 88	266	354
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	▲ 97	151	249

'20年度2Q累計: 日本基準からIFRSに組み替えた金額を記載。以下のスライドも同じ。

売上平均レート(米ドル) '20年度2Q累計 107.51円
'21年度2Q累計 110.34円

1. 2021年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(連結受注高・連結受注残高)

(億円)

	受注高			受注残高		
	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増減	'20年度末	'21年度2Q末	増減
資源・エネルギー・環境	1,005	1,471	465	4,823	4,679	▲143
社会基盤・海洋	656	877	221	2,264	2,481	217
産業システム・汎用機械	1,593	1,795	201	1,753	1,797	44
航空・宇宙・防衛	906	868	▲38	2,485	2,234	▲251
報告セグメント計	4,162	5,012	849	11,326	11,192	▲133
その他	332	248	▲83	323	307	▲16
調整額	▲234	▲176	57	-	-	-
合計	4,260	5,083	823	11,650	11,500	▲150

海外受注高・受注残高	1,665	2,278	612	3,132	3,080	▲51
海外受注高・受注残高比率	39%	45%	6%	27%	27%	0%

1. 2021年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

IHI

(億円)
(参考:試算値)

	売上収益			営業利益		
	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増減	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増減
資源・エネルギー・環境	1,424	1,597	172	41	80	39
社会基盤・海洋	654	699	44	56	40	▲15
産業システム・汎用機械	1,724	1,759	35	1	55	54
航空・宇宙・防衛	992	1,082	90	▲168	▲123	45
報告セグメント計	4,796	5,138	342	▲69	52	122
その他	220	245	25	8	14	6
調整額	▲199	▲219	▲19	0	196	195
合計	4,817	5,165	348	▲61	263	324

売上収益	営業利益
'19年度2Q累計	
1,389	▲61
662	49
1,849	24
1,559	80
5,461	92

海外売上収益	1,866	2,275	409
海外売上収益比率	39%	44%	5%

'19年度2Q累計:日本基準をベースにIFRS値を試算した金額を記載。

1. 2021年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前年同期比増減要因)

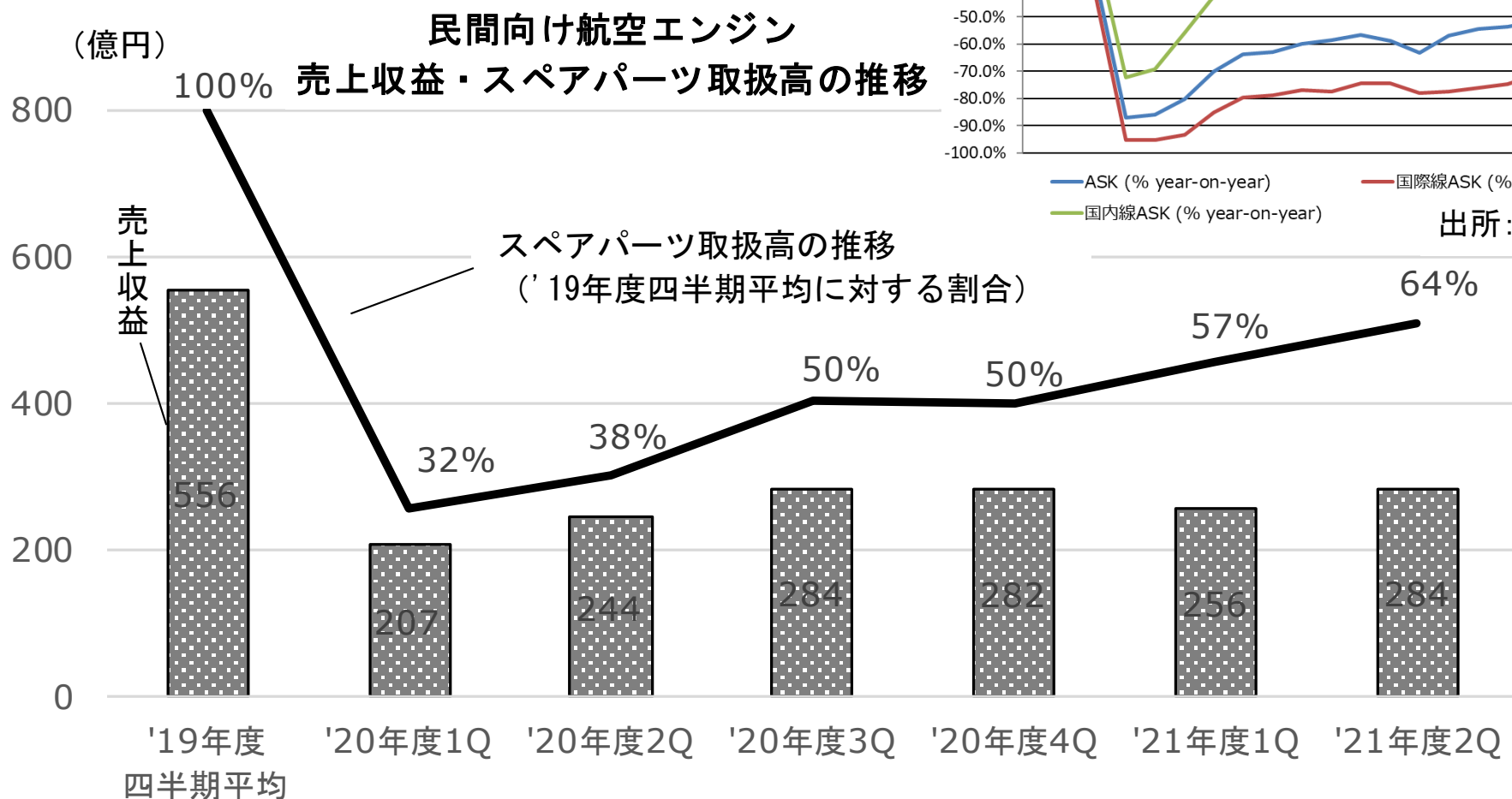
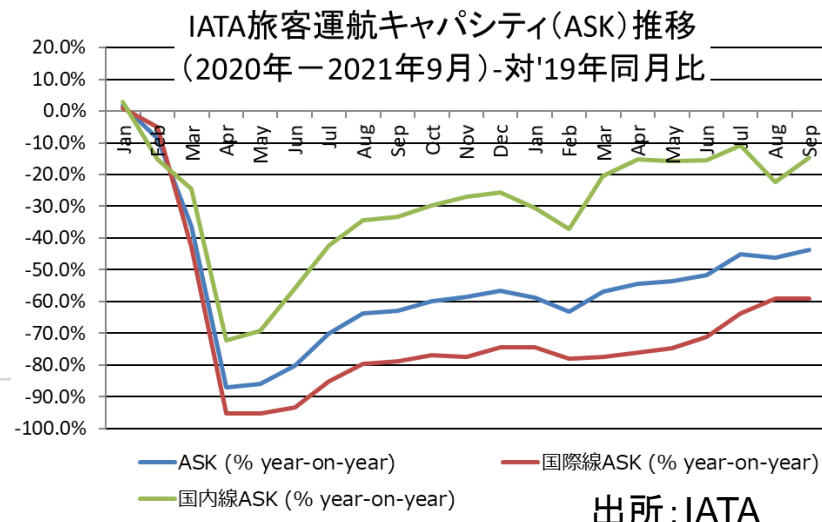
(億円)

	売上収益の 増減	工事採算の 変動	為替の変動	販管費の 変動	その他損益 の増減	合 計
資源・エネルギー・環境	3	33	2		1	39
社会基盤・海洋	5	▲ 4		▲ 6	▲ 10	▲ 15
産業システム・汎用機械	27	20		▲ 17	24	54
航空・宇宙・防衛	▲ 4	28	14	2	5	45
報告セグメント計	31	77	17	▲ 21	19	122
そ の 他	13			▲ 5	▲ 2	6
調 整 額	1			▲ 25	219	195
合 計	46	77	17	▲ 52	236	324

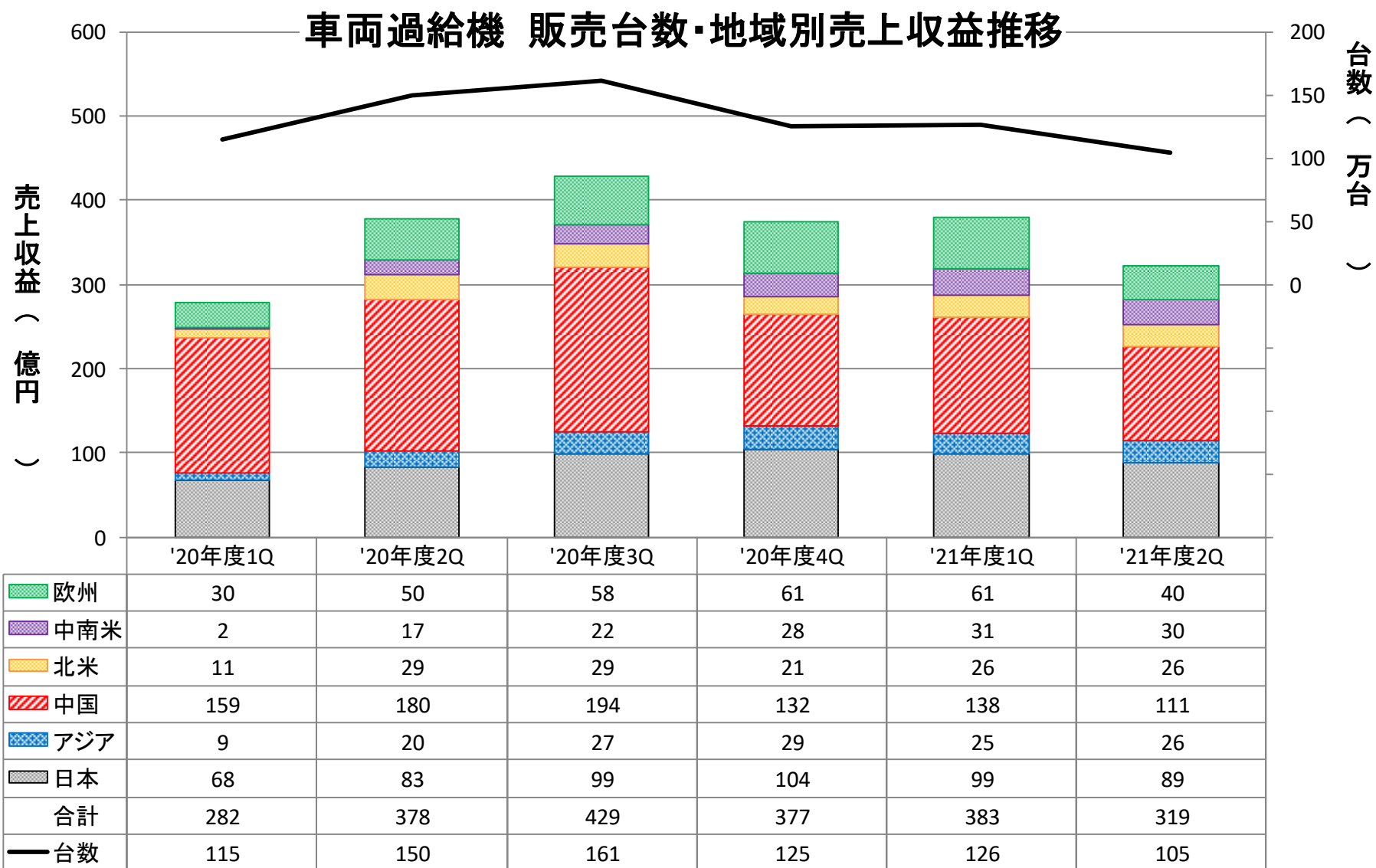
報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

1. 2021年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)

旅客運航需要は引き続き緩やかに回復しており、スペアパーツの取扱高も緩やかだが順調に回復している。



1. 2021年度第2四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(車両過給機の状況)



半導体不足やサプライチェーン混乱による自動車減産の影響を受け、中国・欧州・日本で'21年度第1四半期に対して減収。

1. 2021年度第2四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増 減
為替差損益	▲ 17	7	25
持分法による投資損益	7	8	1
その他の金融損益	▲ 16	▲ 13	2
金 融 損 益 等	▲ 27	2	29

期末日レートの変動(米ドル) '20年度2Q累計 ▲3.05円 (期首108.83円→2Q末105.78円)
'21年度2Q累計 +1.27円 (期首110.65円→2Q末111.92円)

1. 2021年度第2四半期 連結決算 連結財政状態計算書

(億円)

	'20年度末	'21年度2Q末	増減
資産合計	18,328	17,743	▲ 585
(うち 現金及び現金同等物)	(1,207)	(798)	(▲ 409)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,563)	(4,083)	(▲ 479)
(うち 棚卸資産)	(3,264)	(3,583)	(318)
負債合計	15,051	14,328	▲ 723
(うち 営業債務等)	(2,344)	(2,036)	(▲ 307)
(うち 契約負債)	(1,658)	(1,714)	(56)
(うち 有利子負債残高)	(6,059)	(5,704)	(▲ 354)
社債及び借入金	(4,631)	(4,328)	(▲ 302)
リース負債 (※1)	(1,428)	(1,376)	(▲ 52)
資本合計	3,277	3,415	137
親会社の所有者に帰属する持分	3,007	3,182	174
非支配持分	269	232	▲ 36
負債・資本合計	18,328	17,743	▲ 585
D/Eレシオ (※2)	1.85倍	1.67倍	▲ 0.18倍
親会社所有者帰属持分比率 (※3)	16.4%	17.9%	1.5%

(※1) 日本基準におけるオペレーティング・リース相当の負債('20年度末:1,119億円, '21年度2Q末:1,118億円)を含んでいる。

(※2) D/Eレシオ=有利子負債/資本合計 (※3) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分/負債・資本合計

1. 2021年度第2四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	'20年度2Q 累計	'21年度2Q 累計	増 減
税引前四半期利益	▲ 88	266	354
減価償却費(※1)	349	334	▲ 15
運転資本増減(※2)	▲ 487	▲ 128	359
その他	▲ 254	(※3) ▲ 469	▲ 214
営業キャッシュ・フロー	▲ 481	1	482
投資キャッシュ・フロー	▲ 292	27	319
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 773	29	802
財務キャッシュ・フロー	155	▲ 438	▲ 593

(※1) 減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

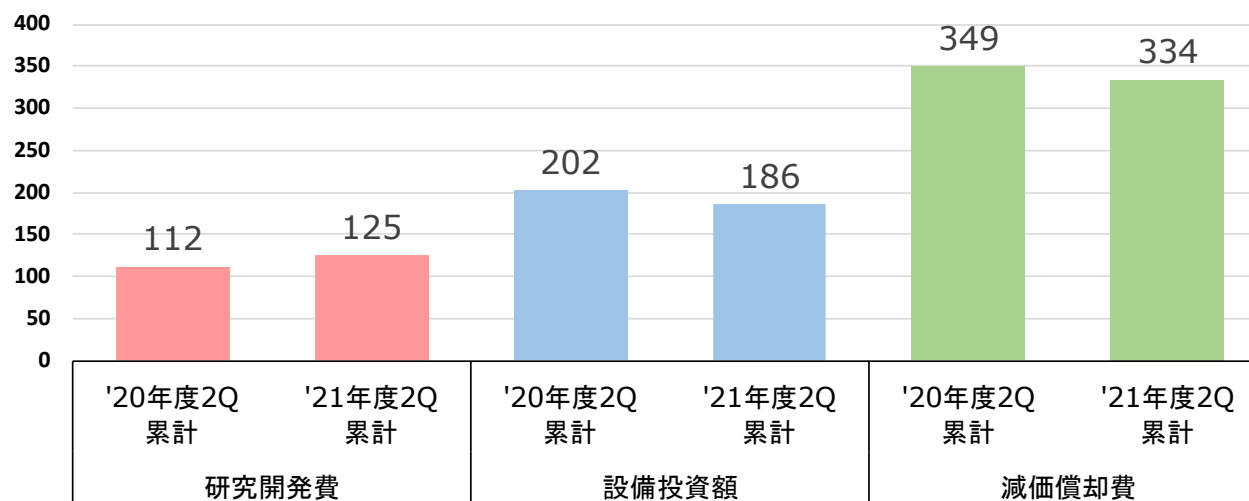
(※2) 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(※3) 保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

1. 2021年度第2四半期 連結決算 補足資料

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費 (億円)



設備投資額, 減価償却費は, 有形固定資産, 投資不動産, 使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益 (億円)

	'20年度2Q累計	'21年度2Q累計
日本	2,951	2,889
アジア	523	740
中国	489	420
北米	577	692
中南米	28	64
欧州	210	316
その他	36	41
合計	4,817	5,165

2. 2021年度 連結業績見通し

2. 2021年度 連結業績見通し 通期業績見通し

- 第2四半期までの業績は堅調に推移しているものの、事業環境の不透明感が増しているため、通期業績見通しはキャッシュ・フローも含めて変更なし。

前提為替レート 米ドル 105円

(第3四半期以降)

(億円)

	'20年度実績	'21年度 前回見通しA (※1)	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
受注高	10,970	11,600	11,600	0
売上収益	11,129	11,800	11,800	0
営業利益	279	700	700	0
税引前当期利益	276	600	600	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	130	350	350	0

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 5億円

(※1) 前回見通しは、2021年8月10日公表の業績予想数値。以下のスライドも同じ。

2. 2021年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	2,747	3,100	3,100	0
社会基盤・海洋	1,661	1,600	1,600	0
産業システム・汎用機械	3,652	4,000	4,000	0
航空・宇宙・防衛	2,689	2,700	2,800	100
報告セグメント計	10,750	11,400	11,500	100
その他	707	700	600	▲100
調整額	▲487	▲500	▲500	0
合計	10,970	11,600	11,600	0

2. 2021年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)

- 社会基盤・海洋は、工事進捗遅れや鋼材価格、海上輸送費の高騰の影響により減収減益、産業システム・汎用機械は、半導体不足やサプライチェーンの混乱により減益の見通し。
- 航空・宇宙・防衛は、為替が前提より円安に推移していることから増収増益の見通し。

(億円)

	売上収益				営業利益			
	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A	'20年度実績	'21年度 前回見通しA	'21年度 今回見通しB	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,176	3,400	3,400	0	191	230	230	0
社会基盤・海洋	1,579	1,800	1,700	▲100	171	170	160	▲10
産業システム・汎用機械	3,742	4,000	4,000	0	114	290	280	▲10
航空・宇宙・防衛	2,515	2,600	2,700	100	▲401	▲270	▲250	20
報告セグメント計	11,014	11,800	11,800	0	75	420	420	0
その他	605	600	600	0	23	30	30	0
調整額	▲490	▲600	▲600	0	180	250	250	0
合計	11,129	11,800	11,800	0	279	700	700	0

2. 2021年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(前回見通しからの営業利益の増減要因)

(億円)

	売上収益の 増減	工事採算の 変動	為替の変動	販管費の 変動	その他損益 の増減	合 計
資源・エネルギー・環境						0
社会基盤・海洋	▲ 10					▲ 10
産業システム・汎用機械	▲ 10					▲ 10
航空・宇宙・防衛			20			20
報告セグメント計	▲ 20	0	20	0	0	0
そ の 他						0
調 整 額						0
合 計	▲ 20	0	20	0	0	0

3. 報告セグメント別の概況

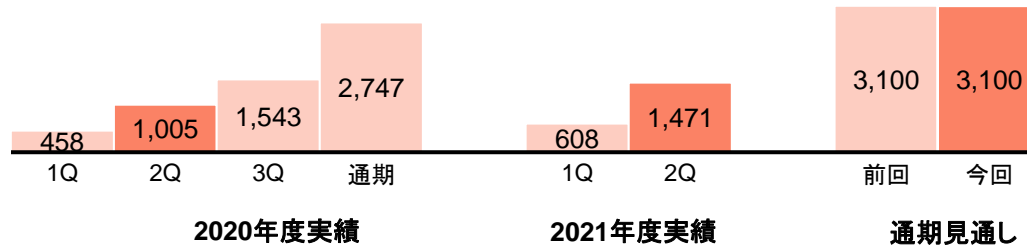
3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

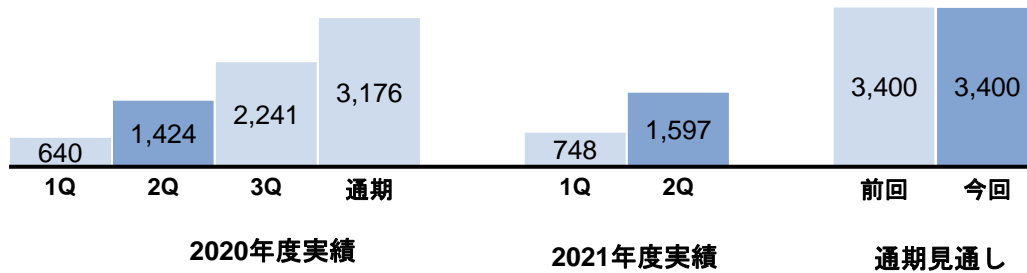
前回: 2021年8月10日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

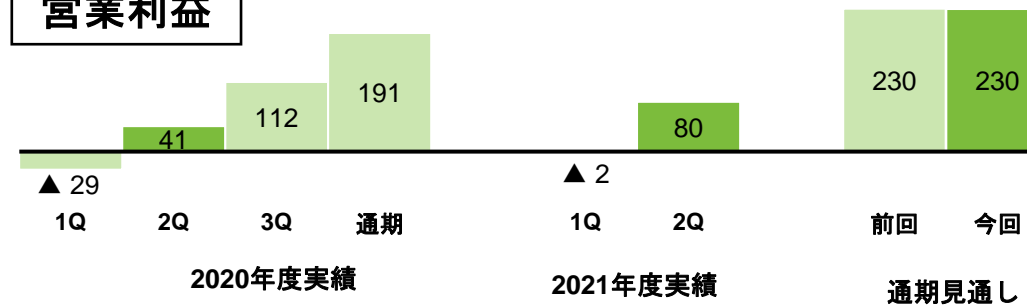
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

カーボンソリューションや原子力, 原動機で増加。

【売上収益】

原子力で増収。

【営業利益】

原子力の増収に加え, カーボンソリューションで不採算案件が概ね収束した影響により増益。

通期見通し(対前回見通し)

■ 受注高・売上収益・営業利益いずれも変更なし。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高						売上収益						
	'20年度			'21年度			'20年度				'21年度		
	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)
原 動 機	190	352	719	255	414	830	188	383	611	871	186	384	930
カ ー ボ ン ソ リ ュ ー シ ョ ン (※)	135	273	1,199	154	622	1,460	330	787	1,192	1,594	352	764	1,510
原 子 力	91	153	426	104	269	490	45	100	181	327	60	163	450

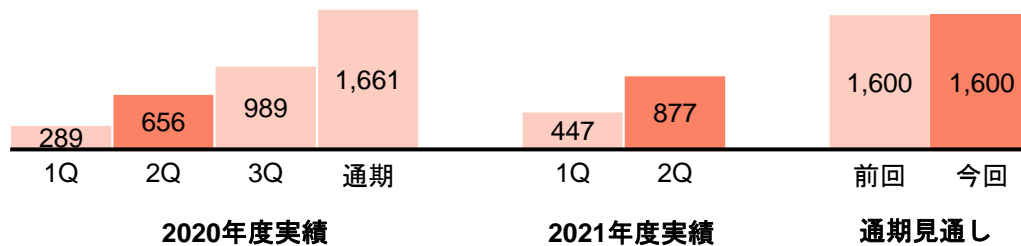
※2021年度のSBU再編に合わせて、2020年度の実績を組み替えています。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

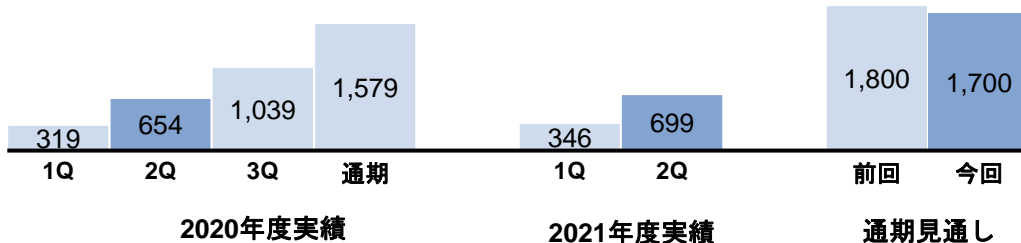
(億円/各期の金額は累計)

前回: 2021年8月10日公表の業績予想数値

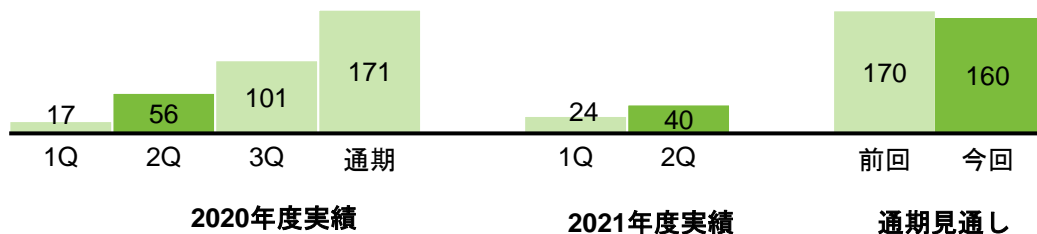
受注高



売上収益



営業利益



主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,
交通システム, コンクリート建材

実績(対前年同期)

【受注高】

橋梁・水門で増加。

【売上収益】

都市開発で不動産販売が減少したものの、シールドシステムやコンクリート建材などで増収。

【営業利益】

増収による増益があったものの、前年同期に投資不動産売却益を計上した影響に加え、橋梁・水門での鋼材価格や海上輸送費の高騰により減益。

通期見通し(対前回見通し)

- 橋梁・水門での工事進捗遅れなどに加え、鋼材価格や海上輸送費の高騰により減収減益。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高						売上収益						
	'20年度			'21年度			'20年度				'21年度		
	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)
橋 梁 ・ 水 門	111	299	793	312	614	950	151	312	494	768	178	336	920
シールドシステム	47	73	217	12	44	190	35	91	123	194	58	120	220
都 市 開 発	65	127	239	46	94	180	66	114	189	239	46	96	180

※「都市開発」の豊洲地区関連情報は、P35、P36の＜参考資料＞を参照

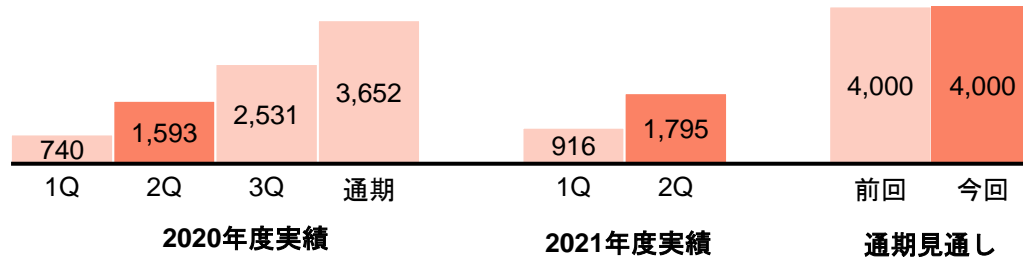
3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

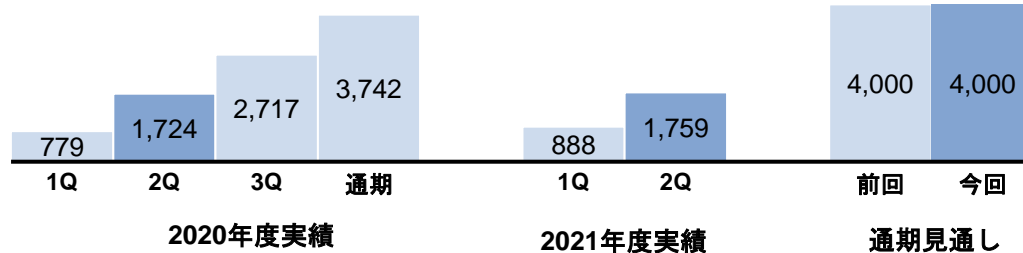
前回: 2021年8月10日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械,
熱・表面処理, 運搬機械, 物流・産業システム

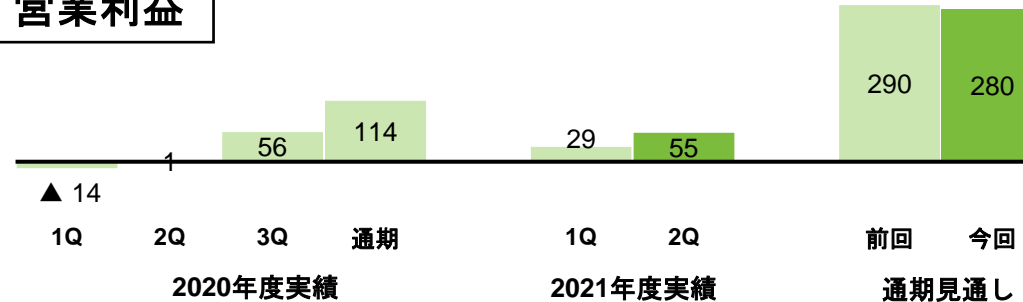
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

熱・表面処理や車両過給機で増加。

【売上収益】

運搬機械で減収となったものの、熱・表面処理や車両過給機で増収。

【営業利益】

前年同期に構造改革費用を計上した影響に加え、熱・表面処理や車両過給機での増収およびコスト構造強化により増益。

通期見通し(対前回見通し)

- 車両過給機で、人民元を中心に円安傾向の影響はあるものの、半導体不足やサプライチェーンの混乱に伴う自動車減産の影響で減益。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高						売上収益						
	'20年度			'21年度			'20年度				'21年度		
	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)
車両過給機	283	662	1,469	386	714	1,570	282	660	1,089	1,466	383	702	1,570
パーキング	102	218	502	106	229	510	93	205	335	460	91	196	540
回転機械	120	232	466	136	267	530	103	230	360	497	119	237	530
熱・表面処理	56	118	298	107	209	400	67	137	214	304	87	186	390
運搬機械	49	83	296	41	97	300	102	197	291	400	73	164	390

※「車両過給機」の詳細は、P34の＜参考資料＞を参照

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	2Q累計	通期
2020年度	265	551
2021年度	231	520

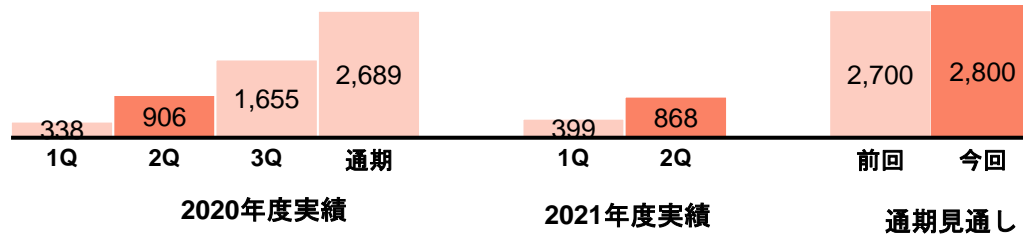
3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

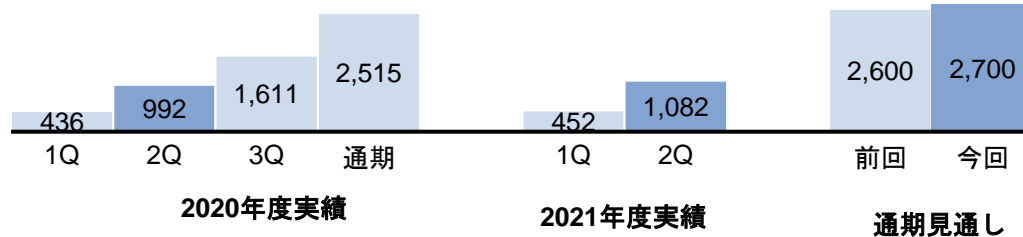
前回: 2021年8月10日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用
防衛機器システム

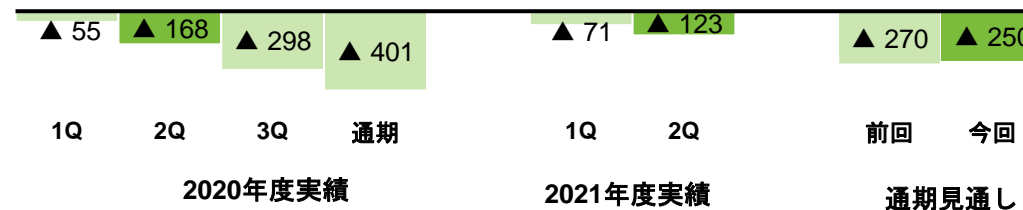
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

防衛機器システムで減少。

【売上収益】

民間向け航空エンジンで本体・スペアパーツの販売が増加したことに加え、ロケットシステム・宇宙利用で増収。

【営業利益】

民間向け航空エンジンで初期負担の重い新製エンジンの販売増加による減益要因があるものの、スペアパーツの販売増加やコスト構造強化による採算改善に加え、為替が前年同期に比べ円安に推移したことにより、赤字幅が縮小。

通期見通し(対前回見通し)

- 民間向け航空エンジンで、第3四半期以降も本体・スペアパーツの販売は緩やかに回復する見込みであるが、旅客需要回復の状況が不透明であるため、為替が前提に対し円安に推移したことによる増収増益のみを反映。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高						売上収益						
	'20年度			'21年度			'20年度				'21年度		
	1Q	2Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	2Q累計	通期 (見通し)
民間向け 航空エンジン	215	443	1,008	257	535	1,300	207	451	735	1,017	256	540	1,300

※「民間向け航空エンジン」の詳細は、P33の<参考資料>を参照

<民間向け航空エンジンの販売台数>

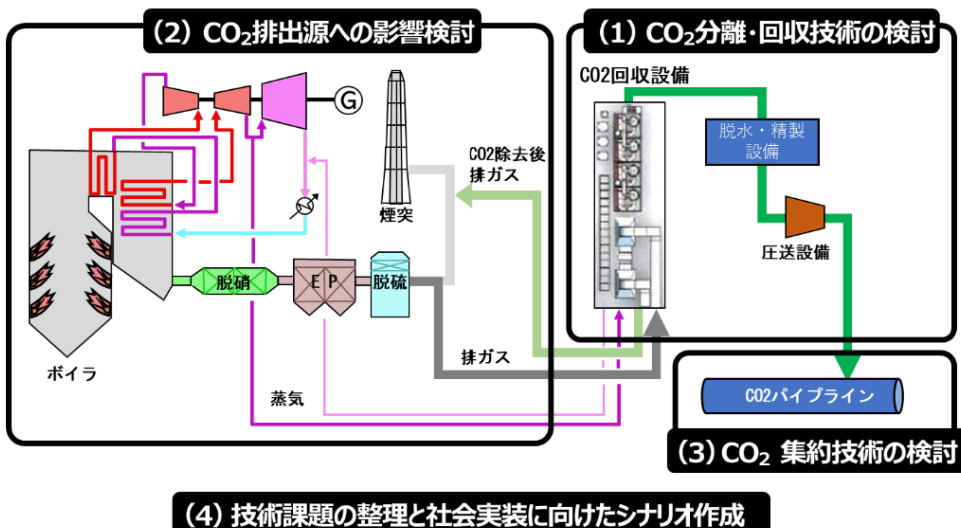
(台)

販売年度	2Q累計	通期
2020年度	403	842
2021年度	420	943

< 参考資料 >

- ・当第2四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

石炭火力発電所におけるCCUS (CO₂回収・利用・貯留) 技術 NEDO調査事業を受託



<調査対象の全体図>

北海道電力株式会社(以下「北海道電力」), IHIおよびJFEエンジニアリング株式会社は, 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託事業^{※1}を受託しました。

本調査は, 今後のCCUS^{※2}の社会実装に向け, 大型の商用石炭火力発電所からのCO₂分離・回収技術や, 回収したCO₂を利用可能とするための集約技術について, 検討および課題整理することを目的としており, 北海道電力の苫東厚真発電所を対象に行ないます。

※1 受託業務名「CCUS研究開発・実証関連事業/CCUS技術に関連する調査/CO₂大量排出源からのCO₂分離・回収, 集約利用に関する技術調査事業」

※2 CCUS「Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage」の略で, 発電所や工場などから排出されたCO₂を他の気体から分離して回収し, 地中深くに貯留・圧入するほか, 分離・貯留したCO₂を有効利用するもの

メタネーション装置初号機を納入 アサヒグループ研究開発センターへ

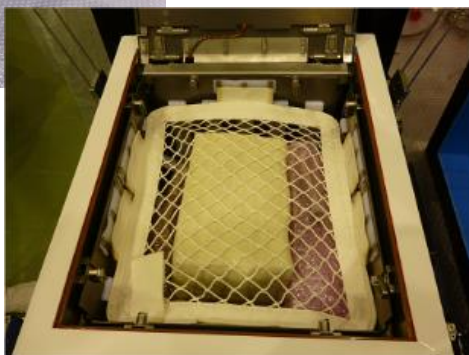
飲料大手のアサヒグループホールディングス株式会社の独立研究子会社であるアサヒクオリティアンドイノベーションズ株式会社へ, 二酸化炭素(CO₂)と水素(H₂)からメタン(CH₄)[※]を製造するメタネーション装置を納入しました。本装置はアサヒグループ研究開発センター(茨城県守谷市)内に設置され, 同センター内で回収されたCO₂を用いて, 工場内のカーボンリサイクルに向けて, 国内食品企業で初となるメタネーション実証試験に利用されます。これは, IHIとして初のメタネーション装置の納入となります。

※メタンは都市ガスの主成分。天然ガスの代替燃料として工場内で利用することも可能。



<アサヒグループ研究開発センター内に設置したメタネーション装置> 30

バイオ医薬品の保管・輸送向けに極低温冷凍冷蔵庫を応用展開



<極低温冷凍冷蔵庫 FROST2 外装(左上図), 内装(右下図)>

IHIとグループ会社である株式会社IHI物流産業システム(以下「ILM」)は、グループ会社である株式会社IHIエアロスペースが、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と国際宇宙ステーション向けに開発した極低温冷凍冷蔵庫「FROST2」を、バイオ医薬品の保管・輸送用に応用展開していきます。

FROST2は、国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟での、たんぱく質や細胞の保管や各実験に使用されている冷凍冷蔵庫であり、電源に接続することで極低温冷凍冷蔵庫として使用できるほか、無電源の状態でも、ドライアイス代替する高性能保冷剤により、庫内温度マイナス70℃以下を6時間以上維持することが可能です。

従来、バイオ医薬品の保管・輸送にドライアイスが用いられてきましたが、航空法により、ドライアイスの積載量に制限があるのに加え、近年、脱炭素化の影響で、ドライアイスの原料が十分に調達できず、供給量が減少しているため、新たな保管技術や輸送ニーズが高まっています。

今後、ILMが得意とする自動倉庫とFROST2を応用した保冷技術を組み合わせることで、これまで実現が難しかったバイオ医薬品の原薬や中間体、細胞医薬品を大量に保管・輸送することも可能になります。

トルコ共和国「第2ボスポラス橋ハンガー交換工事」を受注

グループ会社である株式会社IHIインフラシステム(以下「IIS」)は、トルコの有力ゼネコンであるMAKYOL社とのJVで、トルコ共和国運輸インフラ省高速道路総局から「第2ボスポラス橋ハンガー交換工事」を受注しました。

本工事では同国イスタンブールのボスポラス海峡に架かる第2ボスポラス橋の橋桁を吊っているハンガーロープを交換するほか、管理通路のアスファルト舗装、手摺や車両防護柵の補修等、付属物のメンテナンスも行ないます。



<第2ボスポラス橋>

主要な経営指標の推移

	日本基準			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	13,739億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	13,865億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	607億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	128億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	145億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 758億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 613億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株 式併合後)	70円/株 (中間30円、 期末40円)	50円/株 (中間30円、 期末20円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	5.7%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	4.4%
CCC	87日	83日	97日	120日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.38倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	3.8%
親会社所有者帰属持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	18.7%

IFRS			
2019年度	2020年度	2021年度2Q 累計	2021年度 (見通し)
12,800億円	10,970億円	5,083億円	11,600億円
12,631億円	11,129億円	5,165億円	11,800億円
478億円	279億円	263億円	700億円
82億円	130億円	151億円	350億円
424億円	363億円	1億円	600億円
▲ 855億円	▲ 404億円	27億円	▲ 300億円
▲ 430億円	▲ 41億円	29億円	300億円
50円/株 (中間30円、 期末20円)	0円/株	中間30円/株	60円/株 (中間30円、 期末30円)
4.1%	2.2%	-	5.5%
3.8%	2.5%	5.1%	5.9%
92日	124日	-	110日
2.00倍	1.85倍	1.67倍	1.56倍
2.8%	4.5%	-	11.1%
15.0%	16.4%	17.9%	

ROIC: (営業利益+受取利息+配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS			主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21年度 2Q	
売上収益(億円)	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	540	
累計販売台数(台)												
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,748	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,902	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,866	リージョナルジェット (70~110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,391	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,370	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	142	202	240	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,517	

地域別売上収益推移

(億円)

	実績										見通し	
	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21年度		
										2Q累計	通期	
日 本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	188	430	
ア ジ ア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	51	100	
中 国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	249	580	
北 米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	52	140	
中 南 米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	61	110	
欧 州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	101	210	
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
合 計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	702	1,570	

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績										見通し	
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20年度		'21年度	
									2Q累計	通期	2Q累計	通期
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	61	123	60	120

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

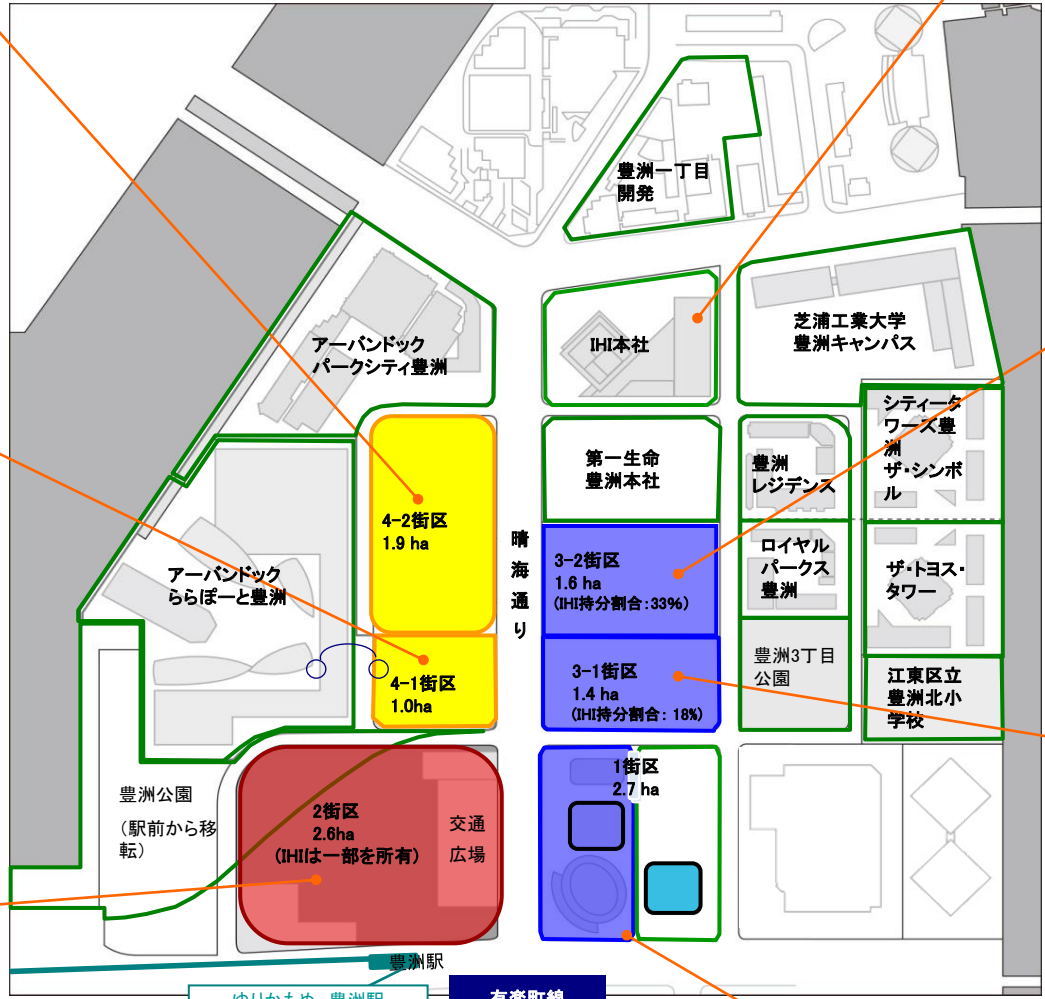
	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'21年度2Q	60	26	20	14

豊洲1～3丁目地区 開発マップ

豊洲4-2街区開発計画
敷地面積: 19,493㎡
2022年春着工～2025年春竣工予定

アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業

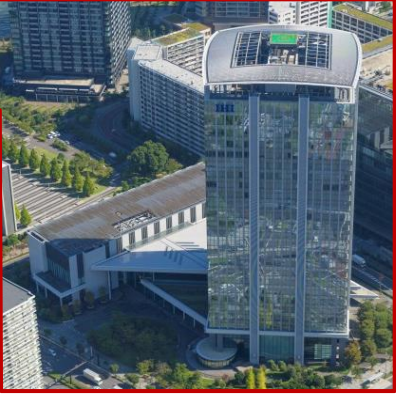
豊洲ベイスайдクロスタワー (AC棟) (IHI, 三井不動産)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工



IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

豊洲IHIビル
地上25F, 高さ: 約125m, 延床面積: 97,617㎡
2006年2月竣工

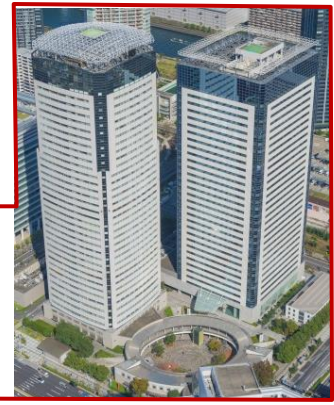


豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所(SPC))
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工

豊洲フロント (IHI, 三菱地所(SPC), 三菱UFJ信託銀行)
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工

豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工



※1 都市再開発法で定める手法の一つ

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。